



ともに世界一しあわせな町をつくろう！

さかわ *Sakawa* 議会だより

73
2018.2.1

発行 高知県佐川町議会

12月定例会

contents 目次



寒さに負けずワッショイワッショイ(えびす祭り)

木造住宅耐震化支援事業	補正ピックアップ	3
ぐるぐるバス	一般質問	4
黒岩中学校統廃合	一般質問	5
障がい者認定	あれはどうなったか	13

町内4地区で集落活動センター始動！



とかの集落活動センターあおぞらの開所セレモニー

平成29年度12月補正予算

(単位：円)

会 計 名	補正額	補正後の額
一 般 会 計	9,132万	67億1,570万
特別会計	国民健康保険	2,639万
	介護保険	96万
	後期高齢者医療	△ 128万
		2億3,853万

12月定例会は、12月8日から14日までの会期で開かれました。
平成29年度の一般会計等の補正予算をはじめ条例制定など、議案6件、人事案1件を審議し採決の結果、全件可決しました。

条例制定

佐川町教育研究所
設置条例の制定

教育に関する調査研究及び教育関係職員の研修等を行い、佐川町教育の振興を図るため教育研究所を設置するにあたり、必要な規定を定めるため、条例を制定する。

協約締結

高知市及び佐川町
におけるれんけい
こうち広域都市圏
形成に係る連携協
約の締結

高知市の都市機能を生かした県下全域の経済成長のけん引や、生活関連機能サービスの向上を図るため、高知市を中核都市とし、県下全域の市町村を対象とした広域都市圏を形成するため協約を締結する。

人事

人権擁護委員

山口 良子 氏
佐川町黒原458番地

意見書

国にも申す

国関係機関に意見書を提出

子どものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書
(提出者 産業厚生常任委員長 藤原健祐)

待機児童を解消し、地域の子ども・子育て支援を拡充するために国として認可保育所の整備計画をたてること。また、保育士等職員の配置基準の改善すること。
そのための必要な財源を確保すること。

12月 補正予算 ピックアップ

障害児施設等設置事業

301万円

障害児通所サービスの利用増加により増額する。

木造住宅耐震化支援事業

4452万円

木造住宅耐震化支援を受けた住宅の件数が予算額を超えたため、国・県に対して補助金の追加要望を提出し、保留分等に係る補助金を増額する。

公共土木施設災害復旧事業

1965万円

本年9月に発生した台風18号により被災した施設（河川、道路）の復旧に係る費用。

議案質疑

提出議案に対して、各議員から出された質問の主なものを紹介します。

一般会計補正予算

下川議員 家庭ごみの収集委託費が937万9千円減額となっているが、主な要因は何か。
和町民課長 事業者間の競争原理が働いて減額となった。

西森議員 各課に超過勤務手当の補正があるが、なぜこの時期か。
麻田総務課長 税務課の40万円増額補正は、職員が1名減っていること、家屋の全棟調査に必要な事務が増えたため。

西森議員 家庭ごみの収集委託費が減額になっている。業者に無理が行き過ぎるのではないか。町の最低制限価格の見直しが必要ではないか。
和町民課長 最低制限価格については財務規則の範囲内で設定している。人件費は県の最低賃金を確保している。

堀見町長 安ければ安いほどいいとは思っていない。

松浦議員 できたばかりの黒岩保育所で改修工事が必要な理由は何か。
田村健康福祉課長 非常ベルが聞こえにくかったため。

松浦議員 仁淀ブルー観光協会で補正が必要な負担金の内容は。
岡崎チーム佐川推進課長 事務局員が1名欠員となり、事務局長の人件費増額が必要となった。

橋元議員 財政調整基金の現在残高は。
麻田総務課長 平成28年度末の残高は約23億4588万円である。現在は約21億円弱である。

中村議員 連携協約の締結は佐川町にどういうメリットがあるか。財政的

連携協約締結

にはどうか。
岡崎チーム佐川推進課長 高知市が持つさまざまな機能を周辺の市町村でも活用できることである。財政的には町に1千5百万円の特別交付税措置がある。

橋元議員 この条例の推進で、高知市への一極集中に拍車をかけるリスクはないか。
川井教育長 文化センターの補導センター内に設置する。決裁権者は教育長となる。

堀見町長 リスクはわからない。佐川町が魅力的であれば、歯止めがかかると思う。

教育研究所設置条例

西森議員 どこに設置するのか。決裁権者はどれか。
川井教育長 文化センターの補導センター内に設置する。決裁権者は教育長となる。

各議員の意思表明

賛否表(平成29年12月定例会)

○:賛成 ●:反対 -:議長 欠:欠席

	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	邑田昌平	森正彦	片岡勝一	松浦隆起	岡村純正	中村卓司	永田耕朗	西村清勇	藤原健祐
平成29年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
高知市及び佐川町におけるれんけいこうち広域都市圏形成に係る連携協約の締結について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
佐川町教育研究所設置条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発委第4号 子どものための予算を大幅に増やし、国の責任で安心できる保育の実現を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

道の駅

建設候補地は

町長 10カ所程度が候補地

松浦 隆起 議員



9人が町政を問う

ここが聞きたい

道の駅において、現在、検討委員会で、さまざまな検討がされている。道の駅建設の一番の懸案事項は、候補地だ。ある一定めどがついた上で具体的な検討に入っていくのが望ましい形だが、めどがついた上で進んでいるのか。

堀見町長 そのように進めるのが原理原則だ。現在、検討委員会で10カ所程度の場所が候補地となっていて、優先順位をつけて、第一候補としていいただろつということになれば、来年度以降、調査し、交渉に当たっていくということになる。



どこにできる？道の駅

さかわぐるぐるバス・デマンド方式 併用を検討すべきだ

チーム佐川推進課長 改善を続けていきたい

「ぐるぐるバス」について、多くの町民から声を聞くが、率直に言って、必要とされている人に手が届いていない。希望する場所に希望する時間に巡回する、デマンド方式を併用する形を検討すべきだ。

岡崎チーム佐川推進課長 佐川町地域公共交通網形成計画の中で、課題として、高齢者や障がいがある方、ドア・ツー・ドアの支援を必要とされている方についての記述がある。今後、こういったことも含めて、今年度内に、もう一度地域に入って、意見を聞く場を設け、改善を続けていきたい。

中学校の部活動に対しての補助金が新年度より見直される。この機会に部活動ではない、スポーツ活動を行っている団体や個人が、四国大会や全国大会に出場する折にも、補助金を支給することを検討してはどうか。

片岡教育次長 中学校の部活動が、教育活動の一環として行われているものに対して、スポーツ少年チームは地域のクラブ活動として行われているものであり、全国大会への出場に対する助成については考えていない。

スポーツ団体・個人への補助金 検討してはどうか

教育次長 考えていない



元気はつらつ！ガッツのメンバー



坂本 玲子 議員

町内では、子育て世代の約半数の家庭の所得が低く、保育料の軽減を望んでいる。県下では6町村で保育料無料。また第2子無料まで含めると10市町村ある。「子育てし

保育料 無料化または軽減を

健康福祉課長 慎重に考えたい

やすい町宣言」を出そうとしている佐川町の保育料軽減はまだ十分でない。保育料の無料化または軽減はできないか。

田村健康福祉課長 保育料がD3階層（町民税所得割額約7万7千円まで）の家庭を半額にするためには約138万円、無償化をするとなれば約1千4百万円必要だ。

今後、国、県の動向や近隣町村の状況を見ながら慎重に考えていきたい。

要介護1以上から 障がい者認定を

健康福祉課長 認定の対象とする

要介護認定1以上の方を障がい者認定することは多くの自治体で実施されている。佐川町では要介護3以上となっている。障がい者認定をされれば税金が軽減される。要介護1から認定を出すべきだと思つが、佐川町ではどうするのか。またその周知方法は。



安心して老後も過ごしたい



子どもは佐川の未来だ！

黒岩中学校統合 地域が寂れないよう配慮を

教育長 配慮していく

学校統合に関しては、地域の方々と、保護者、子どもたちの声をしっかりと聞き、きめ細かく一人一人に寄り添うことが必要だ。また、黒岩地域が寂れることのないような配慮、取り組みが必要だ。

川井教育長 子どもの声に耳を傾け、スムーズに受け入れることができるよう準備をしている。保護者負担が増えないよう、スクールバスの運行や、制服等の支給を考えている。地域が寂れないように、黒岩の地域学習をする。また伝統芸能を引き継げるようにしていきたい。



橋元 陽一 議員

平和で安全安心な まちづくりを

町長 核兵器のない世界を願う

非核三原則を宣言し、平和首長会議に加盟している町の町長として、核兵器禁止条約に反対する日本政府の姿勢についての見解と、平和な町づくりの取り組みは。

堀見町長 核兵器廃絶は、国家間で取り組むべき重要な課題であり、世界人類共通の願いだ。核兵器禁止条約が、すべての国の参加で採択され、核兵器のない世界になることを願う。

佐川町の幸せのことを第一に、町の皆さんがお互いさまで助け合い、つながり合って、平和で安全安心な佐川町をつくりたい、そのための教育もしていきたい。



核兵器をなくそう！

黒岩中学校統合による 町経済への影響は

教育長 地域経済への影響はない

黒岩中学校、休校後の交付税や学校運営費などによる地域経済への影響はどうか。

川井教育長 学校管理費の内訳は学校用務員の賃金、施設修繕費、教員研修費、コピー料金や通信費など黒岩地区で消費されるものではないので、休校による地域経済への影響はほとんどない。

麻田総務課長 交付税減額は統合後2年目までゼロ。3年目以降81万円、348万4千円、601万6千円、859万4千円と順に減額されていく。

教材費補助制度 導入を

教育長 厳しい家庭の支援に努めたい

「義務教育は無償とする」憲法の理念をどう捉えているか。町内小中学生の年間教材費と中学校入学時経費の保護者負担はどのくらいか。また小学生一人千円、中学生二千円の教材費補助制度を導入してはどうか。

年間の小学生の教材費は平均1万1千420円、中学生が平均2万2千320円。中学入学時に女子が8万8千690円、男子が6万9500円。教材費補助をすれば、小学生560人分は60万円で約116万円必要だ。基本的には一律の助成ではなく、厳しい家庭に対する支援の充実に努めたい。

川井教育長 最高裁判例は「無償とは授業料を徴収しない」としている。しかし、国は普通教育を受けさせる義務を課しているから、保護者の負担軽減は望ましいと思う。行政として教科書無償化や就学援助を行っている。

その他の質問
住宅リフォーム助成制度の新設について



休校でどうなる？黒岩地域



森 正彦 議員

平成30年度の予算編成方針について、理念、方針、指針は。

平成30年度 予算編成方針は

町長 総合計画をもとに推進する

教育研究所 取り組み内容は

教育長 3本柱を立て取り組む

堀見町長 経営理念は、全ては「佐川町を幸せな町にするため、町民の幸せのため」を一番の基軸として予算編成に臨む。中期方針として、人が一番の財産であり、人が生き生きと輝く町をつくることとしている。

経営方針は、第5次佐川町総合計画に基づく町づくり、アクションプランを確実に進めるため、想像力を働かせ、主体的にまじめにおもしろく考え、「持続可能なしあわせな町をみんなで作る」を掲げている。

教育研究所の具体的な取り組み課題と人員体制、予算規模の見積もりは。

川井教育長 取り組む内容は、ふるさと教育に関すること、不登校対策、学力対策の3本の柱で進める。

研究所には運営委員会を設け、研究チームの検討や業務内容のチェック等を行う。学校現場の実態を踏まえた取り組みを推進したい。

人員体制は所長、県教委から派遣の研究員、教育指導員2名の計4名を新たに配置し、初年度の予算規模は約1千万円でランニングコストとしては8百万円程度と考えている。



研究所設置予定の文化センター

あおぞら公園トイレ 改修すべき

産業建設課長 来年度改修を実施

斗賀野あおぞら公園内のトイレが機能不全となっている。早急に改修すべきだ。

公文産業建設課長 あおぞら公園内のトイレは環境に配慮したバイオマストイレとして設置したが、15年を経過し老朽化が進み、機能の維持が困難になって利用者に迷惑をかけている。

町としては、来年度に改修を実施したいと考えている。



きれいなトイレはみんなの願い！



町では斗賀野、加茂、尾川、黒岩で集落活動センターが開設されたが佐川地区にはない。今後センターを開設する考えがあるのか。また夢まちランドの位置付けをどう考えるのか。

集落活動センター 佐川地区はどうする

チーム佐川推進課長 建設する予定はない

中村 卓司 議員



堀見町長 4地区の集落活動センターは支援員を配置し、運営をしている。佐川地区においても国の制度で支援員を設置することができるところを研究してみよう必要がある。夢まちランドの取り組みも行政としても考える。



今後の活動が期待される夢まちランド

町内の道路整備はまだ進んでいない。そこで町内3カ所①荷稻から

町内の道路 整備どうする

産業建設課長 必要なら検討する

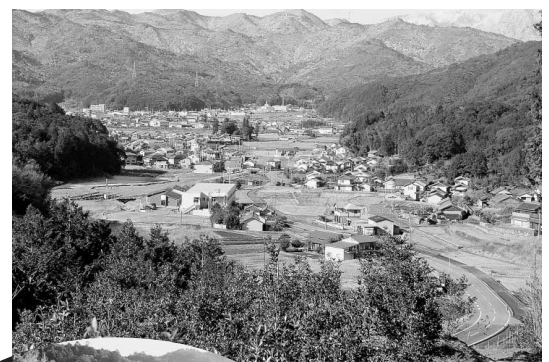
加茂へ通ずる荷稻道②清和病院裏の農免道路③国道494から町内に入る新道の今後の道路整備について町の考えは。公文産業建設課長 現時点では点検、維持管理、修繕、更新事業にシフトしている。

仁淀ブルーマラソン できないか

チーム佐川推進課長 考えていない

各地区で数々のマラソンが行われているが高吾北地区で仁淀ブルーマラソンはできないか。岡崎チーム佐川推進課長 マラソンについては、考えていない。

堀見町長 今、仁淀川町では食いしんぼマラソン、日高村では茂平マラソンなど、ハーフマラソンが行われている。佐川町では黒岩短縮マラソンが実施されている。それぞれの地域がリニューアして、盛り上げていくことが大切と考えている。



行き止まりになっている荷稻道



西森 勝仁 議員

町長は3月定例議会で「地域住民の理解なしに統合することはない」と明言しておきながら、直後に統合を決断している。電光石火のような統合は多くの住民が納得して

電光石火のごとく なぜ急ぐ黒中統合

町長 決断したとおり進める

いない。これからは地域の子どもの数も増えてくる。今の保育園児が中学生になる頃には30人を超える。

説明不足であり、将来禍根を残す恐れのある統合は考え直すべきではないか。

堀見町長 寝耳に水と思っている人がいるかもしれないが、教育長からは保護者や自治会長、民生委員、議員等から合意を得たと聞いて決断した。来年度に統合する。

防犯カメラ 設置は時代の要請

町長 要望があれば考える

最近、観光客や県外ナンバーのバスやマイカー

が増えている。経済面では潤いが治安の悪化を心配する町民の声も多い。以前、子どもの誘拐犯が町内で逮捕されたこともあったし、また、町民の行方不明者の捜索活動もあっている。住民の安全安心対策と犯罪の抑止力のために防犯カメラを設置すべき時代だ。

堀見町長 住民から防犯カメラを望む声は聞いていない。

しかし、そういう声が上がってくれば、警察とも相談し国や県の補助金を活用して設置を考えよう。



観光客が増加した上町地区



使ってますか？ぐるぐるバス

悪評高きぐるぐるバス その運行実態は

町長 順調にスタート

住民が非常に期待していたぐるぐるバスではあったが、本格運行になっても極めて評判が悪い。駅でもどこでも人が乗っているのをめったに見たことがない、こんなアホらしい無駄遣いはやめてほしい、町が潰れると言う町民の声は多い。一体どうなっているのか。また、収支の採算はどうなっているのか。

堀見町長 ぐるぐるバスは順調にスタートできたと思っている。地域公共交通の理念は住民の移動手段をカバールすることである。理解してほしい。岡崎チーム佐川推進課長町が購入したぐるぐるバスはガソリン車で3台ある。1日の走行距離は9路線で約3百キロメートル。11月分の乗客は平均1・38人（計画の10分の1以下）。また、11月分の運賃収入は合計約7万円。支出は運行委託料185万円と峯線分の6万円がある。

黒岩中学校から佐川中学校への統合問題が話し合われ、具体的に2018年4月1日より統廃合されるとなった。

黒岩地区から佐川中学

黒岩から佐川への 災害時、登下校対策は

教育長 適切に対応する

片岡 勝一 議員



校への登下校においては、台風時など最悪の場合、道路が冠水し定期バス、スクールバスも通行できなくなる。どう対応するか。

川井教育長 水害について、生徒の安全確保のため状況に応じて休校、登下校の時間調整などを行い、安全に努めていく。

また、スクールバスについては運行委託している地元業者は充分承知していて安全確保は適切に対応してくれると考えている。



豪雨で冠水する黒岩の道路

転校による 心のケア、どうする

教育長 さまざまな対応をしていく

思春期は反抗期でもある。傷つきやすく環境変化についていけなくなったり、いじめにあったりすることが考えられる。相談相手も見つからず、自分の殻に閉じこもり登校拒否などに発展する可能性もある。

転校による心のケアをどうするか。

川井教育長 統合決定したあと、生徒たちは非常にショックを受けていると思っている。そこで教職員が子どもたちと個別面談を実施した。子どもたちの心の安定を図る取り組みを12月に実施した。

臨床心理士のカウンセラーが月2回学校を訪問することになっている。1月と2月には黒岩中学校の1、2年生が交流授業、クラブ活動の体験など4月より本格授業前の取り組みを行う。4月以降は、黒岩中学校教員を佐川中学校に配置、統合による加配教員と教育支援員も検討する。

黒岩中学校 休校後の利活用は

教育長 活性化につながる利用

黒岩中学校休校後の校舎の利活用については、**川井教育長** 今現在、全く検討していない。

今後は、黒岩いきいき応援隊をはじめとする、地域の皆さんの意見を聞き、地域の活性化につながる利用方法を考えたいと思う。



楽しい学校生活を！



下川
芳樹
議員

ぐるぐるバス 意見交換会をサロン方式で

町長 合意形成に意味があると思う

教育研究所 加茂地区へどうつなぐ

教育長 加茂地区でも使える計画を

ぐるぐるバスの運行は、町民みんなで考える課題である。交通弱者への配慮や行政が抱える問題を町民と共有するために、今後の意見交換会をサロン方式で行ってはどうか。

堀見町長 サロン方式でぐるぐるバスについての合意形成を図ることは、大変意味のあることだと思う。担当課でどのような運営をするか話をしたいと考えている。

来年4月より佐川町教育研究所が設置されるが、教育委員会が異なる加茂地区の子どもたちに、ふるさと教育などの業務内容をどのようにしないといけないのか。

川井教育長 今後、教育研究所を設置し全体計画を作成する際には、加茂地区の実態を学校組合より聞かせてもらい参考にする。加茂地区の学校でも使える計画の取り組みを進めていく。



加茂地区で開催された楽しいサロン



佐川は一つ！加茂も一緒に！

再犯防止への 働きかけを

健康福祉課長 2町と連携し働きかける

平成28年12月に施行された再犯防止等の推進に関する法律では、地方公共団体には国との役割分担を踏まえ再犯防止施策を策定、実施する責務などが定められている。幸せな町を目指す佐川町には、県や保護区関連2町への働きかけを行ってほしい。

田村健康福祉課長 国、県の動向を見ながら、高吾保護区保護司会を構成する越知町、仁淀川町と連携し、再犯防止施策の推進を県に働きかける。関係団体と連携し再犯防止等の啓発に努め、安全・安心な地域づくりに取り組む。



宮崎 知恵子 議員

五位山 イルミネーション企画

チーム佐川推進課長 前向きに考えていきたい

五位山のイルミネーションについては、新聞にも大きく取り上げられた。今少し手を加えれば名物イベントになるのではないかと思われる。今後の取り組みについては、

岡崎チーム佐川推進課長
イルミネーションについては、地域おこし協力隊の島田氏の立案であり、チーム佐川推進課と地域の関係各位と理解を得ながら企画を立てた。安全対策、駐車場等の問題もあり、少しPRは控えた。その後、実行委員会形式で反省会を行った。総じてまたやってみたいこの話になっている。役場としては、かわりについて方向性を出していない。さまざまな検討課題もあるが、前向きに考えていきたい。



五位山公園を地域資源として

坂本龍馬が教科書から排除される 町としてどう取り組む

町長 県全体で取り組む

明治維新の立役者であり、世界に目を向けた坂本龍馬の功績を子どもたちに引き継ぐことが大切だ。また、地域おこしをするためにも、教科書からの排除には反対だ。この問題について町としてどう取り組むか。

堀見町長 この問題については、佐川町だけの問題ではなく、県全体の問題だと捉えている。町村会34市町村が連携を図って県全体としてこの問題に対処していきたい。

地域おこし協力隊 実績を聞く

チーム佐川推進課長 さまざまな活動をしている

地域おこし協力隊関連では、平成29年度当初予算では1億3千8百万近い予算と33人体制であるが、この当初予算について、今後の計画、発明ラボの実績については。

岡崎チーム佐川推進課長
12月1日現在で活動隊員は26名で、年度途中で退職もあつたが、おおむね計画どおりである。新年度募集については今開始しており自伐型林業4

名、植物園関係1名、発明ラボ3名で平成30年度の募集を開始している。発明ラボの主な成果については、3D機器を使い、ベンチの製作等、ものづくりを進めている。尾川小では特別授業を行っている。また発明ラボを拠点にして木曜日に小学生がプログラミングを楽しんでいる。観光協会で各種製品の販売もしている。



龍馬の功績を後世につなぎたい



障がい者認定

(平成29年3月定例会)

他町村では要介護1以上で障がい者認定が受けられる。本町でも要介護1以上を対象とすべきでは。

(坂本議員)

健康福祉課長 答 弁

平成29年12月見直し決定

申請受付対象者を要介護3以上から要介護1以上に緩和する。厚生労働省の認定基準に従い認定する。

どう
なった

見直しを検討する

本町は現在、要介護3以上を障がい者認定の対象としているが、多くの市町村では要介護1以上を対象としている。来年度の確定申告に向け見直しを検討する。

あの質問のゆくえ

No.44

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は3月2日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

編集後記

本誌の編集は、新人議員から順に議席番号5番までの5人で担当する事になっています。

さて、顧みてみますと広報発行は私が議会事務局長時代に議会の活性化の一環として、議員の活動を知ってもらうため始めたものですが、当初はノウハウも無く、また、ミスもありお叱りも受けた事でした。

研修会や勉強会には、積極的に参加し、また全国コンクールにも出品して、審査員の評価も受けながら研鑽を積んで来ました。

あれから早や、足かけ20年。感無量の感がありますが、これからも皆様に親しまれ、読んでもらえる誌面づくりに邁進してまいりますのでどうかお力を貸してください。

西森勝仁

議会広報編集委員会

委員長	下川 芳樹
副委員長	西森 勝仁
委員	坂本 玲子
委員	宮崎知恵子
委員	橋元 陽一

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

地域で がんばる

佐川小学校放送委員会

〜今日も見守りありがとう〜

見守り放送の録音当日

今回は町内で
もたに登場して
もらいます。
学校の子どもたち
が防災無線で地域
の皆さんに、学期
ごとに交代しなが
ら、下校するとき
の見守りを訴えて
います。

役場内の放送室に入
り、担当者に指導を受け
ながら、放送原稿の読み
合わせの後、録音に入り
ました。
日頃からの放送活動の
成果が出て、一回でOK
ができました。

この度は3学期
を担当する佐川小
学校放送委員会に
お伺いしました。

― 3学期の放送担当に選
ばれた下八川友愛さんから
一言

びつくりしたけど、こ
んな機会はめったにない
ので選ばれてうれしい！



佐川小学校放送委員会の皆さん

佐川小学校放送委員会

― 毎日どんな活動をし
ていますか。

放送委員は10人いま
す。
2人1組で、毎日の朝、
昼、掃除、放課後の放送
を担当します。

昼休みの放送は、月曜
日【音楽】、火曜日【ク

― 放送委員として、や
つていてよかったと思っ
たときは？

ミスして怒られるとき
もあるけど、よくできた
と褒められたらうれし
い！

原稿がOKになったと
き！

嫌なときは？

ペアになっている人が
きちんとやらないとき。
ミスしたときに先生に
怒られたとき。

児玉恵美校長先生

子どもたちの通学を地
域の皆さんに見守ってい
ただいて感謝しています。

子どもたちの放送を聞
くと、地域で守らなくて
はという気持ちになりま
すよね！

あなたの周りに、佐川
のまの元気のために活
躍されている「組織やグ
ループ」をぜひ、ご紹介
下さい。



今回放送担当の下八川さん



録音中の下八川さん